

展覧会のご案内

【特集展示】 新発見！蕪村の「奥の細道図巻」

2022年6月14日(火)～7月18日(月・祝)
平成知新館1F-2

与謝蕪村は、芭蕉の俳諧行記『おくのほそ道』を主題とした作品を数多く制作しています。なかでも『おくのほそ道』の全文を書写し、関連する絵を添えた作品は、これまで4件の現存が知られていましたが、このたび新たに5件目となる作品が発見されました。関連する当館所蔵品とともに初公開いたします。



奥の細道図巻(部分) 与謝蕪村筆 江戸時代 安永6年(1777)

【特別展】 河内長野の霊地 観心寺と金剛寺 ——真言密教と南朝の遺産——

2022年7月30日(土)～9月11日(日)
平成知新館2F、1F

2016～19年度に京都国立博物館が実施した観心寺・金剛寺の文化財調査の成果を公開する機会として、従来知られた名品に加え、新たに発見された寺宝の数々をご紹介します。河内長野の地が伝える濃密な歴史文化をお楽しみください。



国宝 日四季山水図屏風(右隻)
大阪・天野山金剛寺蔵

重要文化財 伝坐生如来坐像
大阪・観心寺蔵
画像提供:公益財団法人美術院 撮影:金井杜道

※スタンプラリー期間の開催ではありません。

ご利用案内

開館時間

9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休館日

月曜日 ※ただし、7月18日(月・祝)は開館し、19日(火)休館

観覧料

○庭園のみ開館

2022年5月24日(火)～6月12日(日)、7月26日(火)～7月28日(木)

一般／300円 大学生／150円

※高校生以下および満18歳未満、満70歳以上、障害者とその介護者1名、キャンパスメンバーズ(含教職員)／無料(すべて要証明)
※有料(一般のみ)にてご入館の方には、庭園ガイド冊子がつきます。

○名品ギャラリー<平常展示>

2022年6月14日(火)～7月24日(日)

一般／700円 大学生／350円

※高校生以下および満18歳未満、満70歳以上、障害者とその介護者1名、キャンパスメンバーズ(含教職員)／無料(すべて要証明)
※特集展示「新発見！蕪村の「奥の細道図巻」」も本観覧料でご覧いただけます。

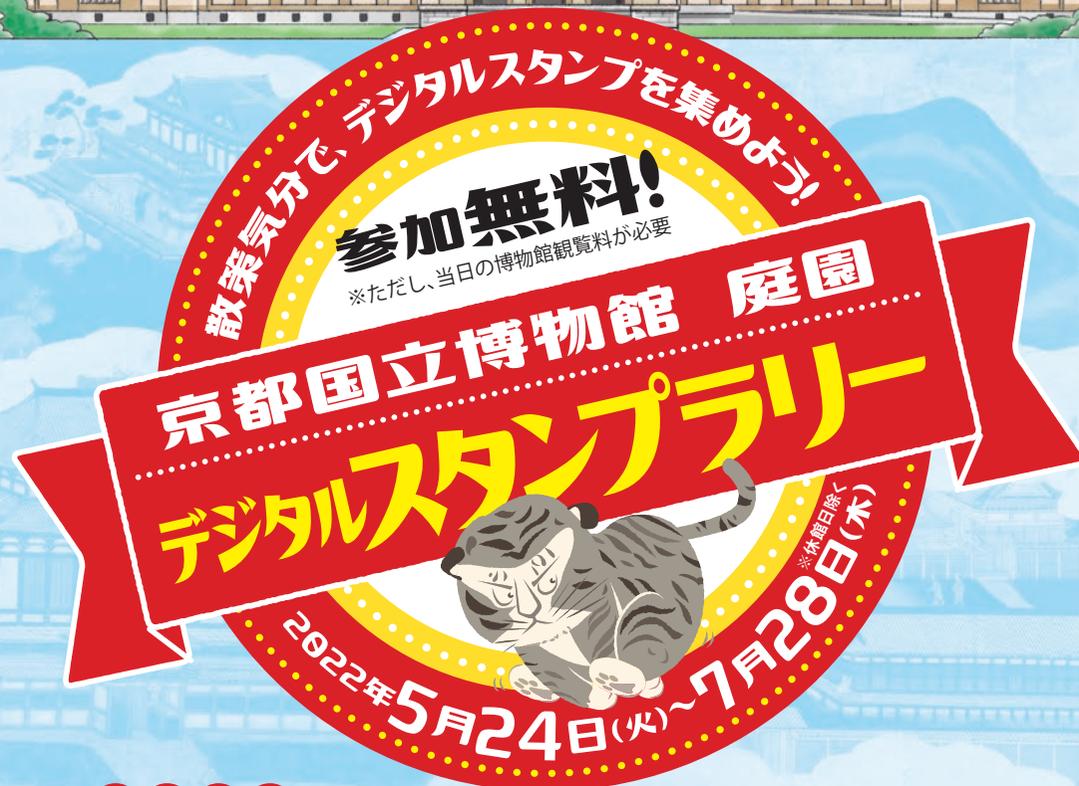
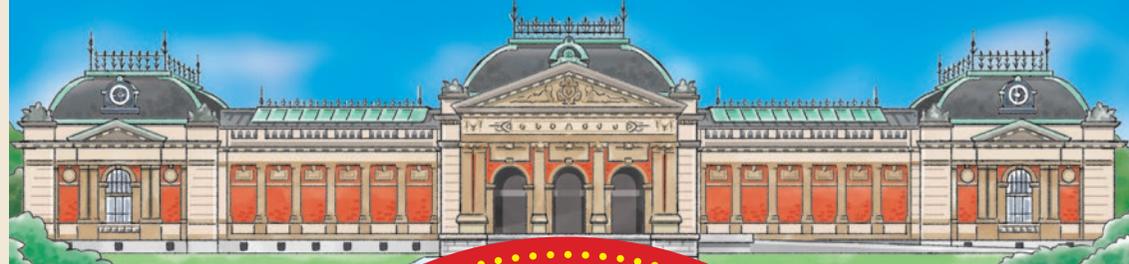
アクセス

◎JR・近鉄…京都駅下車、京都駅前D2のりばから市バス206・208号系統にて博物館三十三間堂前下車、徒歩すぐ

◎京阪電車…七条駅下車、東へ徒歩7分
ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。駐車場は有料となっております。

 京都国立博物館
KYOTO NATIONAL MUSEUM

〒605-0931
京都市東山区茶屋町527
075-525-2473(テレホンサービス)
<https://www.kyohaku.go.jp/>



参加方法

「西の庭」の展示作品のうち、4つのキャプションにQRコードを設置中！
QRコードを読み取ってスタンプをすべて集めると、記念品をプレゼント！



詳細はスタンプラリーイベントサイトをご確認ください。▶

記念品

京都国立博物館
公式キャラクター
トラりんオリジナルグッズ



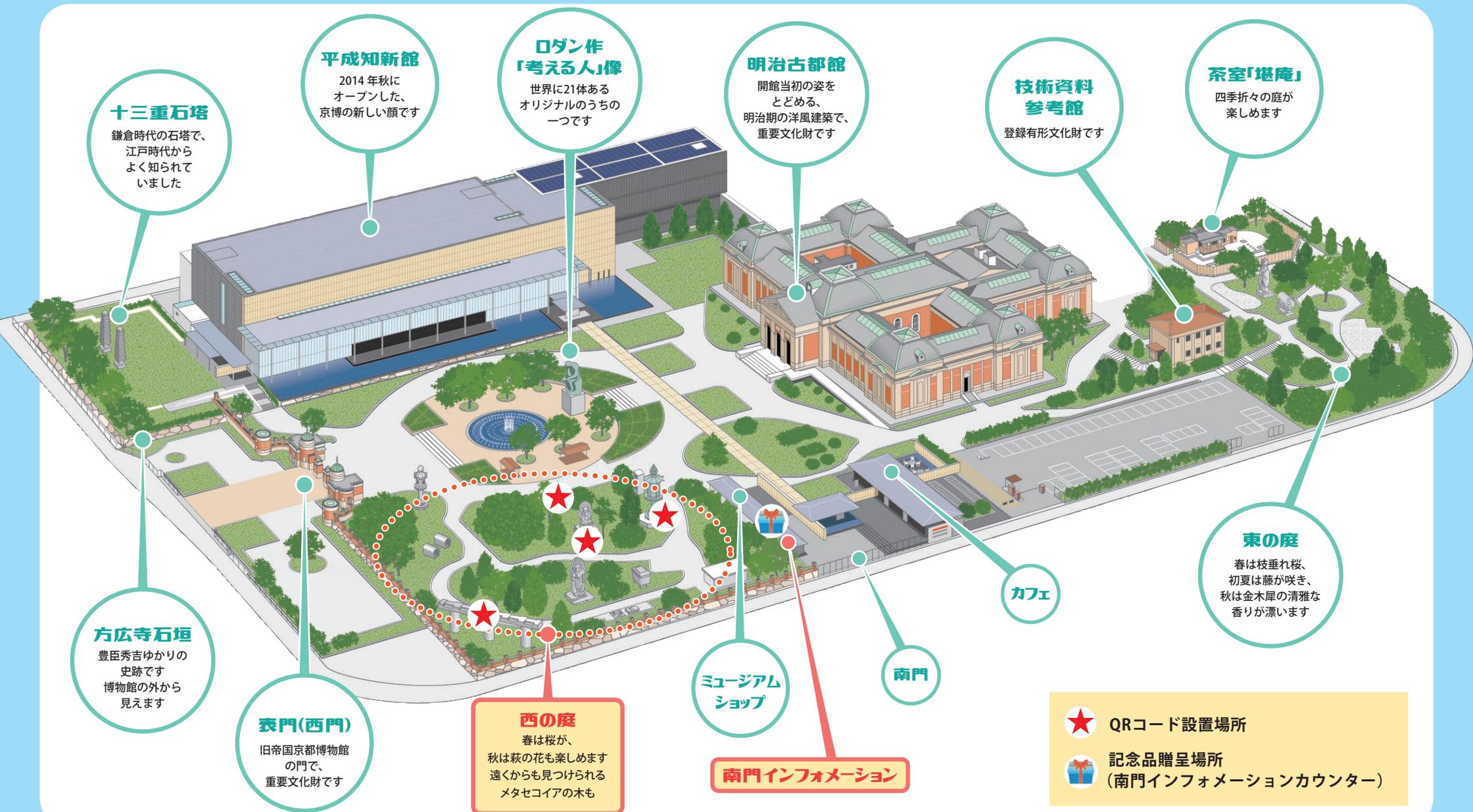
京都国立博物館

075-525-2473(テレホンサービス)



★ をまわってQRコードを読み取ろう！

京都国立博物館は、1897年に開館した、120年以上の歴史をもつ博物館です。館藏品・寄託品をあわせ約14,600件(2021年度末現在)を超える作品を収蔵し、貴重な文化財を次の世代に伝えるため、収集・保存・展示・研究をしています。陶磁・考古・絵画・彫刻・書跡・染織・金工・漆工など様々な分野にわたる文化財を平成知新館(名品ギャラリー)にて展示しているほか、年2回程度、特別展を開催しています。



十三重石塔

鎌倉時代の石塔で、江戸時代からよく知られていました

平成知新館

2014年秋にオープンした、京博の新しい顔です

ロダン作「考える人」像

世界に21体あるオリジナルのうちの一つです

明治古都館

開館当初の姿をとどめる、明治期の洋風建築で、重要文化財です

技術資料参考館

登録有形文化財です

茶室「堪庵」

四季折々の庭が楽しめます

方広寺石垣

豊田秀吉ゆかりの史跡です。博物館の外から見えます

表門(西門)

旧帝国京都博物館の門で、重要文化財です

西の庭

春は桜が、秋は秋の花も楽しめます。遠くからも見つけられるメタセコイアの木も

ミュージアムショップ

南門インフォメーション

南門

カフェ

東の庭

春は枝垂れ桜、初夏は藤が咲き、秋は金木犀の清らかな香りが漂います

★ QRコード設置場所

🎁 記念品贈呈場所
(南門インフォメーションカウンター)